

# M O N T H L Y **vol.46** U P



バーコードでより高度な情報管理を。

# あまり意識することはない。 でも、欠かせない。 情報化社会のシンボル。

**太さの異なる“線”の組み合わせで、数字や文字を表すバーコード。  
誕生より30余年を経て、その価値はますます高まっています。**

日頃から目にする機会も多い、バーコード。スーパーやコンビニのレジでも、おなじみの存在です。昔はキーを打って精算していましたが、今ではバーコードを読み取るスタイルがすっかり主流になりました。レジ打ちも“打つ”より“読み取る”方が多くなっているのではないのでしょうか。

キーボードに替わる入力手段のひとつとして誕生したバーコード。1950年代、アメリカではレジ精算の効率化のため、POS (Point of Sale: 販売時点情報管理) システムとともに、自動読み取り技術の研究が盛んでした。その成果のひとつとして、スーパーで扱われるアイテムに関わる業者たちが中心となり、1973年、共通商品コードUPC (Universal Product Code) が作られました。

一方、日本でもバーコードの標準化が研究されており、1978年、共通商品コードとしてJAN (Japanese Article Number) コードが制定されました。これはヨーロッパのEAN (European Article Number) コードに準じたもので、UPCと互換性のある国際的な共通商品コードなのです。

バーコードは小売業だけにとどまらず、物流、娯楽、行政、病院、教育など、あらゆる分野に活用されています。それに伴い、JANコード以外にもさまざまな種類が登場。流通の効率化はもちろん、情報管理の高度化にも役立っています。たとえば、ITFコード。日本の物流統一コードで、商品の外箱に直接印字

したり、ラベルとして貼って使用します。図書館の貸し出し管理や郵便書留などで使用されているNW-7 (CORDABAR) は、細かな印刷精度を要求しないのが特徴です。またCODE39は、英文字と7種類の特殊記号を使うことが可能。誤読率が低く、産業分野などで使用されています。

他にもQRコードなど、2次元コードと呼ばれるバーコードもあります。これらは、通常のバーコードより情報量を多く、表示スペースを小さくすることが可能。携帯電話で読み取るバーコードとして、徐々に知られる存在となってきました。

バーコードの再現性は印刷方法によっても違いを生じます。オフセット印刷は、線の太りや細りが少なく、紙箱や包装紙などJANコードの印刷に多く利用されています。ビニールパッケージなどによく利用されるグラビア印刷も、高い画像再現性を誇ります。一方段ボール印刷に利用されるフレキソ印刷は、印刷条件によって品質が変化するため、製版時の補正が大切。そのため、印刷条件の詳細なデータが必要です。

意識しなければ、どれも同じ縞模様に見えるバーコード。しかし、用途によって使い分けられ、情報化社会において、ますますその価値を高めています。印刷技術も、優れた読み取り安定度という点で、バーコード普及に貢献しています。





<http://www.sezax.co.jp>

<input type="checkbox"/> 本社・工場	〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7	TEL 03 (3758) 2511(代)	FAX 03 (3758) 2754	
		営業専用	FAX 03 (3758) 2544	
<input type="checkbox"/> 渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル6F	TEL 03 (3400) 9211(代)	FAX 03 (3409) 7315	
		5F	TEL 03 (3400) 9401(代)	FAX 03 (5468) 9253
<input type="checkbox"/> マニュアル企画部	〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7	TEL 03 (3758) 2591(代)	FAX 03 (5482) 2777	
<input type="checkbox"/> 下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03 (3758) 2516(代)	FAX 03 (3758) 8850	

株式会社セザックスクリエイティヴ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 4970(代) FAX 03 (3409) 2732

株式会社セザックスインターナショナル

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 0527(代) FAX 03 (3409) 6610



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの地球にやさしいインキを使用しました。

この小冊子は再生紙を使用しています。